

単元名 漢字の広場3

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 3年生までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
 (2) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。
 (3) 3年生までに配当されている漢字を使って、文を作ろうとする。

標準的な展開例

04010205_001

【教材名】 3年生で習った漢字3 (上 P.126)

【準備等】 国語辞典, 漢字辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 昔話を書く。 ★習った漢字を使って、二つの昔話を書こう。 ○漢字の読みを確認する。 ○教科書(P.126)の絵を見て、どんな昔話なのか発表する。 ・おむすびころりん ・浦島太郎 ○教科書の絵を見て、〈例〉を参考にしながら昔話を完成させる。</p> <p>2 書いた文章を読み合う。 ★書いた昔話を読み合おう。 ○完成した昔話を友達と読み合い、推敲する。 ・漢字にできる語句はないか。 ・つなぎ言葉を正しく使っているか。 ・漢字の送り仮名は正しいか。</p>	<p>・読み間違いは、適宜確認する。</p> <p>・習った漢字は使うこと、句読点を打つこと、送り仮名に気を付けること、つなぎ言葉を使うことをあらかじめ伝えておく。</p> <p>・学級の実態に応じて、段落を意識させるとよい。</p> <p>【評】 習った漢字を使って昔話を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】 習った漢字や接続する語句を使って文を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・推敲の観点を示して、推敲の方法を確認するとよい。</p> <p>【評】 推敲する活動を通して、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認める「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】